

第7部 人権教育

第1章 人権教育の推進体制

1 基本的な考え方

人権が尊重され、差別や偏見のない「人間性豊かなまち・名古屋」を実現するためには、市民一人一人が人権問題に関心を持ち、自らの課題として人権尊重についての理解と認識を深め、主体的に考えて行動することが重要である。また一人一人が、人権の意義やその尊重と共存の重要性について、理性と感性の両面から理解を深めるとともに、権利の行使に伴う責任を自覚し、互いの人権を尊重することが求められる。このような基本的認識のもと、これまでの同和教育事業の成果をふまえ「なごや人権施策基本方針」に基づいて、学校教育や社会教育の場において、以下のように、人権尊重の精神の涵養を図る人権教育の充実を図っていくこととする。

2 推進体制

(1) 人権教育事業は、「名古屋市教育委員会人権教育推進会議」において必要な事項を審議し、教育委員会関係各課及び公所をあげて推進する。

具体的な事業の推進については、施策や事業を所管する課及び公所による対応を基本とする。

(2) 学校教育においては、あらゆる差別や偏見をなくし、互いの人権を認め合う人間性豊かな幼児、児童、生徒を育成する人権教育を推進する。

発達段階に応じながら、学校教育活動全体を通じて、幼児、児童、生徒の人権尊重の意識を高める教育を推進するため、教育研究などに取り組むとともに、初任者から校（園）長まで職務や経験年数に応じた教職員の人権教育研修を計画的に実施する。

(3) 社会教育においては、差別意識の解消と人権意識の高揚を図る人権教育を推進する。

市民が生涯の各時期に応じて、人権に関する学習ができるよう、生涯学習センター等の社会教育施設における講座・講演会の開催、家庭教育への支援、市民の自主的な学習を支援する場と機会の提供などに取り組む。また、人権教育を推進するための学習教材・情報の収集・提供、指導者の育成、職員研修の充実などに取り組む。

第2章 学校教育

1 人権教育の研究推進

(1) 小中学校人権教育研究協議会

人権教育に関する研究をすすめ、教職員の人権教育への理解と認識を深めることを目的とする名古屋市小中学校人権教育研究協議会を助成し、学校での人権教育の推進に努めた。

(2) 人権教育の推進

人権教育研究実践校・推進校を設定し、研究・実践をすすめ、その成果を本市の人権教育の推進に資するよう努めた。

令和6年度主な研究テーマ

- ・あなたも わたしも みんな大切
- ・自分を大切にし、相手を大切にできる人間の育成
- ・あいにつながり、ともに笑顔
- ・多様性を尊重することができる児童の育成
- ・みんなと仲良くできる栄生っ子
- ・豊かなつながりを築くことができる児童の育成
- ・自他を大切にすることのできる児童の育成
- ・「ともに生きようとする児童」の育成
- ・互いに尊重し合える児童の育成
- ・自他を尊重し、互いを支え合う生徒の育成
- ・「笑顔で学び 笑顔で生きる」生徒の育成
- ・他者とともに生きる

2 人権教育研修会

教職員の人権教育についての認識を深めるため、各種の研修会を開催した。

令和6年度事業実績

研修会名	対象	月日
校（園）長研修会	新任校（園）長	5/8～5/31 動画配信
校（園）長研修会	経験年数2年目の校（園）長	
教頭研修会	新任教頭	6/19～7/19 動画配信
教頭研修会	経験年数2年目の教頭	
学校運営研修会（Ⅰ）	経験年数2年目の教務主任	7/22～8/8 動画配信
学校運営研修会（Ⅱ）	新任校務主任	7/23～8/6 動画配信
ミドルリーダー研修	経験年数11年目以上の教諭・養護教諭・栄養教諭の希望者	7/22～8/30 動画配信

研修会名	対象	月日
教育研究員	教育研究員	7/5 動画配信
幼稚園中堅教諭等資質向上研修	経験年数10年目の幼稚園教諭	7/22～8/30 動画配信
中堅教諭等資質向上研修	経験年数10年目の教諭	
高等学校中堅教諭等資質向上研修	経験年数10年目の高等学校教諭	
学校事務職員経験者研修会	経験年数8年目の学校事務職員	
養護教員経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の養護教諭	8/1～8/30 動画配信
高等学校養護教員経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の高等学校養護教諭	
栄養教員経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の栄養教諭	※隔年開催のため実施せず
幼稚園教職経験者研修会	経験年数5年目の幼稚園教諭	7/22
教職経験者研修会	経験年数5年目の教諭	7/22～8/30 動画配信
高等学校教職経験者研修会	経験年数5年目の高等学校教諭	5/7
養護教員経験者研修会（Ⅰ）	経験年数5年目の養護教諭	8/1～8/30 動画配信
高等学校養護教員経験者研修会（Ⅰ）	経験年数5年目の高等学校養護教諭	5/7
幼稚園新規採用教員研修会	新規採用幼稚園教諭	7/26～8/28 動画配信
初任者研修会	新規採用教諭	4/24 動画配信 4/24～8/30 動画配信 4/24～8/30 動画配信
高等学校初任者研修会	新規採用高等学校教諭	
新規採用養護教員研修会	新規採用養護教諭	
高等学校新規採用養護教員研修会	新規採用高等学校養護教諭	
新規採用学校栄養教員研修会	新規採用栄養教諭	
新規採用学校事務職員研修会	新規採用学校事務職員	4/24～8/30 動画配信
人権教育研修会	研究実践校の新任・転任の校長・教頭・本務教諭・養護教諭・栄養教諭	4/11～4/30 動画配信
人権教育担当教員研修会	各学校（園）の人権教育担当者等、人権教育を推進する教員	11/1～12/27 動画配信

3 資料の整備

教職員の人権問題に対する認識を深め、部落差別（同和問題）をはじめとする人権問題の解決に積極的な意欲をもった人間を育てる教育の充実を図るため、人権教育を推進するための指導者用参考資料として「人権教育の手引き」を始めとして各種指導資料を充実した。

第3章 社会教育

1 文化センター等における教育委員会主催事業

地域住民の生活の充実・教養の向上・相互交流の促進を図るための各種の事業を実施した。

令和6年度実績

区分	開設回数	延参加者数
教養講座	172回	1,316人
子ども向け事業 (親子対象事業を含む)	35	232
家庭教育講座	21	371

2 市民の人権問題についての認識を深めるための社会教育

市民の一人一人が部落差別（同和問題）をはじめとする人権問題の解決を自らの課題であると認識するための啓発活動を実施した。

（1）名古屋市民大学の開設

- ア テー マ 人権啓発ファシリテーター養成講座
～アクティビティで学ぶことを通して～
- イ 期 日 1月18日、1月25日、2月1日、2月15日、2月22日 5回
- ウ 受講者数 延べ44人
- エ 会 場 イーブルなごや

（2）市民大学公開講演会の開催

- ア テー マ 「ふつう」って何だろう？
～子どもの権利を通して考える～
- イ 期 日 12月5日
- ウ 参加者数 78人
- エ 会 場 イーブルなごやホール

（3）社会教育施設等における人権問題学習

人権問題講座等の受講者を対象に、部落差別（同和問題）をはじめとする人権課題についての講義や、「人権教育の手引き～みんなで学ぶ人権ワーク集～実践編」を活用した参加体験学習を通じた人権教育を行った。また、冊子「部落差別（同和問題）と人権」等による啓発を行った。

令和6年度実績（生涯学習センター・イーブルなごやを会場として実施）

事業名	実施回数	延参加者数
	回	人
人 権 問 題 講 座 等	※ 104	957
人権問題特別講演会	5	168

※講師等の都合により中止した回を除く。

（４）グループリーダー人権問題研修会

社会教育関係団体や地域社会の指導者を対象に、部落差別（同和問題）をはじめとする人権問題についての理解と認識を深めるため実施した。

ア 期 日 9月20・24日

イ 会 場 イーブルなごや

ウ 内 容 講演、ビデオ鑑賞、グループ討議

エ 研 修 生 社会教育関係団体指導者、地域団体指導者等延べ49人

（５）市民啓発のための資料の作成・整備

市民の部落差別（同和問題）をはじめとする人権問題についての認識を深めるために、視聴覚教材等を整備し、学習活動の充実を図った。